日本思想演習Ⅲ

科目ナンバリング　HIT-401
選択必修　　2単位

渡邉　公太

1. 授業の概要（ねらい）

本演習は、まず近現代日本の思想史研究についての基本的な方法論を理解し、その後、各々が関心のある研究課題を設定し、それを解決する手法を実践的に学びます。

前期は、まず基礎的な学問的思考方法や、研究手法を学んだあと、共通したテーマに基づいた学術論文を輪読します。毎回報告者を決め、報告者はレジュメを作成して報告しますが、論文に対する自身のコメントが必須となります。そのあとは、受講者全員で意見を交わし、議論します。

2. 授業の到達目標

・専門的知識を用いて、自らの興味関心に基づいた課題を設定することができる。
・設定した課題を解決するための効果的な計画を立てることができる。
・設定した課題を解決するために必要な資料の調査・収集を行い、適切なデータを提示することができる。
・他者と課題を共有・討論し、課題解決のための資料を分析することができる。
・設定した課題について、適切なデータを用いて分析して解決し、分析方法、分析結果について他者と共有することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点で判断するが、特に以下の諸点は重視する。
・出席：毎回の出席は必須。やむをえない事情で欠席する場合は、可能な限り事前に連絡すること。
・報告：定められた報告は必須。
・授業参加：定められた報告を行うだけでなく、他者の報告に対しても適切な質問・コメントを積極的に行う。

4. 教科書・参考文献

教科書
授業時に指示
参考文献
授業時に紹介

5. 準備学修の内容

自らの研究課題に対応する文献・資料の収集や読解、その成果を授業で報告するための準備が求められる。

6. その他履修上の注意事項

受講者の希望があれば受けつけますので、積極的に演習に参加して下さい。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　学術研究の方法1
【第3回】　学術研究の方法2
【第4回】　研究論文の輪読1
【第5回】　研究論文の輪読2
【第6回】　研究論文の輪読3
【第7回】　研究論文の輪読4
【第8回】　研究論文の輪読5
【第9回】　研究論文の輪読6
【第10回】　研究計画報告1
【第11回】　研究計画報告2
【第12回】　研究計画報告3
【第13回】　研究計画報告4
【第14回】　研究計画報告5
【第15回】　総まとめ